



法政大学 校友連合会報

http://www.hoseinet.com

発行・法政大学校友連合会
発行人 佐伯弘治
編集人 竹内實昭
〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-3
法政大学九段校舎内4階
電話 (03) 3264-1831 (代表)
FAX (03) 3264-4770
振替口座 00100-8-89141

2005年
新春対談

大学改革で「校格」上がる

社会のニーズに応じて躍進



法政大学校友連合会会長
さ え き 弘 治 さん
佐伯 弘治さん

大学の総合力第4位
革新力では第1位

佐伯/近年、法政の評価が高まっています。「週刊東洋経済」の「本邦に強い大学」で第4位、経営革新力では第1位、早稲田と並んで学長のリーダーシップが注目を浴びています。この調査の対象校は103校ですが、ここ数年、継続的に取り上げられている企画です。これによりますます法政の躍進ぶり、評価の高さがわかります。清成先生の総長在任は9年目になります。清成/いやいや、佐伯さ

あけましておめでとうございます。新年の対談テーマは、社会変化の中で進化する法政大学の姿と卒業生の関わりを中心に、さつきばらにお話し頂ければと思います。

ここ10数年、つぎつぎ改革を進めている法政大学の姿は、創立120周年を機に顕著だ。教育・能力開発に、研究開発に、社会のニーズに応じて、新たな学部や大学院研究科を設置している。法政大学は大学として社会的責任にこたえる改革を他大学に先駆けて取り組んでいる。その改革項目は40を超え、大学に新たなカルチャーがつぎつぎ生まれ、大学経営も健全、教職員、学生も元気に。



法政大学総長・理事長
きよなり ただお 清成 忠男さん

新しい教学プログラムでございませう

まさに目を見張る充実ぶりです。ところで、今、日本の大学は大きな転換期にありま

4月から以降毎年の様に学部を新設してきました。大学の学部認可にあたって、財務内容は毎年チェックを受ける。が、財務はいじり成果も上げているのでいつもスムーズに改革が実行に移せるのです。このような大学は珍しい。他大学をみると例がない。明治大学でも50年ぶりに情報コミュニケーション学部を新設した。立教大学は98年に2学部ができた。法政大学は「改革が改革を呼ぶ」といった勢いで、教職員の意識が進んでい

吉は大逆事件、桜田門事件などの担当検事でした。校友初の大逆事件である竹内久治も法律家ですが、平沼騏一郎内閣の陰謀と云われた国家主義者でした。戦後、文学者の野上豊一郎、経済学者の大内兵衛とつづいて、法政の学風がいわゆる進歩的なものになった。大正末期に経済学部、文学部ができたときも、スクールカラーが変わりました。明治時代の法律学校と違ってリベラルな雰囲気が生まれたようです。特に文学部にはちょっと世をすねたような逸材が入ってき

カルチャーが付け加わりました。教員も新しい、学生も新しい。そこに新しいカルチャーが生まれるという大学の印象があります。佐伯/大学のカルチャーが変わるとかかっている。法政は創立以来、自由と進歩の学風ということになっているが、必ずしもそうとは限りません。やは時代によって変遷がありました。元々、法律学校でしたから、歴代の学長、総長は法律家でした。初期の梅謙次郎は別格ですが、その後の松室致は逆事件の検事総長、昭和になってからの小山松

現代GPに2テーマ選ばれる。清成/04年度に始まった「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」で、法政は対象の6チーム(①地域活性化への貢献②知的財産関連教育の推進③仕事で英語が使える日本人の育成④他大学との統合・連携による教育機能の強化⑤人材交流による産学連携教育⑥ITを活用した実践的遠隔教育)の内、①と⑥の2つのテーマの選定大学として選ばれた。2つ採択されたのは私立大学で2校だけでした。これは大学を競わせて補助金を重点的に配分するこ

優秀な人材が育つ業績主義。佐伯/結局、組織を生かすも殺すも人ですね。清成/業績主義はデメリットでありメリットでもあります。法政は出身大学を問わず人材を集める。しかし、優秀な人は他校から引き抜かれることもある。それでも、法政で学んで学者となり他大学で高い評価を受ける例は多くあります。業績主義のいいところは日本人的育成④他大学との統合・連携による教育機能の強化⑤人材交流による産学連携教育⑥ITを活用した実践的遠隔教育)の内、①と⑥の2つのテーマの選定大学として選ばれた。2つ採択されたのは私立大学で2校だけでした。これは大学を競わせて補助金を重点的に配分するこ

出 席 者	
法政大学総長・理事長	清成 忠男氏
法政大学校友連合会会長	佐伯 弘治氏
司会	竹内 實昭 62年卒 (広報委員長)
写真	宮本 幸彦 63年卒 (広報委員)

九段校舎会議室

謹賀新年 A HAPPY NEW YEAR

新春対談 社会で活躍すれば大学の評価も上がる

卒業生の母校貢献

大学の評価は高まり社会的にも注目されていますが、卒業生として母校にできることは何でしょうか。

佐伯 卒業生が母校に貢献できるのは、何よりも社会に出て立派な仕事をする

ことです。大学の評価は卒業生の社会での活躍ぶりによって決まります。そうすればいい学生がくる。また社会の母体に対する評価が高まる、という関係になるわけです。

加えて、同窓生相互間では独自の集団にならない範囲での、節度ある助け合いが欲しいですね。

あとは、やはり、母校に対する寄付ですね。それにはアメリカ型の寄付文化というか、税制の徹底した優遇制度が望まれます。

大学から、卒業生評議員を選挙委員会委員長の選出を仰せついています。母校愛の持ち主で、見識のある立派な人を選びたいと思っています。

また、法政大学は全国型大学ですから、地方で活躍されている方々に入っている方々も必要だと思っています。北海道から沖縄まで人材は豊富です。

清成 卒業生の話でいえば、新潟は政令都市になる予定ですが、新潟らしい国際会議を始めた。この財界のコアになっているのが法政大学の出身者だった。

亀田製菓の古泉さんなどはアルビレックス新潟を支援したり、地元では大変な活躍をされている。このよう

に各地で活躍されている法政の卒業生が多くいます。

大学での満足度は先生、先輩、教育との出会い

大学からみての卒業生との関係はどうかですか。

清成 大学はこれから言

うと、大学時代に満足度が良くないと振向いてくれません。先生との接点も大切で、きちんとした教育をすることです。母校には良い先生がいるとの評価をうけることです。

昭和13年でしょうか戸谷敏之(1912年〜1994年・注3参照)という人物が法政に入ってきた。一高から東京帝大経済に合格した秀才でしたがリベラルな人も治安維持法で逮捕される時代で、捕まっていた卒業生を取り消されたので、戸谷さんは今の時代、どこの大学が一番リベラルか学問が出来るかと法政の経済に入るわけですね。そして小野武夫さんに入る。小野さんは大塚久雄先生に預け、ここで素晴らしい論文を発表する。本富士署に留置されたとき一緒にいたのが丸山真男で、その縁で丸山に影響を与えた。大塚史学の形成には大きな力になっている。大塚先生は仲間で、「尊敬している」とも述べている。惜しいことに昭和20年に戦死した。

佐伯 戸谷さんに「イギリス・ヨーロッパの研究」というテーマを与えたのが小野武夫先生です。小野さんは



清成忠男総長 「全学部から改革提案が上がってくる」。

卒業生の組織化には気配りと愛情が必要

卒業生が今どこで働いているのか。その動向を把握することも大切ですね。

卒業生数は37万人を超え、校友連合会に参加できると良いですね。

佐伯 卒業生の組織化を高めることは大切ですが、加盟の義務があるわけではなく、会費が負担にならない範囲で組織化をはかるべきです。若い人も年金生活者も気軽に加わるものでなければなりません。組織化とは愛情をもって心のつながりを広げていくことです。

どんな人にも母校の思いがある。むしろ、それが健全な感情です。

清成 卒業生の話では、先日も世界26カ国が参加するEOYの企業表彰式があったのですが、この会で社長さん達にお会いしたとき、いろいろなところで法

政の校友会の創立時のことを調べてみると、初めは、教員も卒業生も一緒に、学校運営に加わるといった形のいわば中世のギルドのような発想だったようです。

初代の会長は、山田東次

という神奈川県選出の衆議院議員でした。山田以外の幹事も弁護士やジャーナリストなど、ボアソナード博士の薫陶を受けた自由民権の闘士たちだったようです。現在の校友連合会も母校と不離不即の関係にありますが、大学の主体性を握ることも大切ですね。

いろいろなところで法政の校友会の創立時のことを調べてみると、初めは、教員も卒業生も一緒に、学校運営に加わるといった形のいわば中世のギルドのような発想だったようです。



佐伯弘治会長 「良い先輩をもつのはいいことです」。

生の中にも多くいる。家庭では大学院にいくと許すわけですが研究者になるわけでもない人達です。社会的には大変な損失(注4参照)になるわけで、大学組織をあげ発生源を絶つ努力をしなければならぬと思っています。この問題に本格的に取り組むのは大学として法政大学が初めてのことです。一部他大学で学生部が名を変えてカウンセラーとかで対応しているところもありますが大学の組織をあげて取り組むのは法政が初めてです。

国は発生した対策はやるが発生源を絶つのがわれわれの仕事だと思っています。

佐伯 言葉は適切ではな

いかもしれませんが大学にはイメージ産業の面もあり

ます。そのイメージをどう

つくるか。足元をキツリ

かためて、時代を先取りし

ていくことです。二トヘ

の取り組みもその一つで

注1 法政大学の改革実施状況

1992年 大学院社会科学部経済学専攻の修士課程で昼夜開講を実施。

1993年 工学部の学科を改組し、8課程で昼夜開講を実施。

1995年 経営学専攻修士後期課程で昼夜開講を実施。

1998年 法律学専攻修士課程に法曹コースを開講。

1999年 政治学専攻修士課程で昼夜開講を実施。

2000年 国際文化学部、人間環境学部、現代福祉学部、情報科学部を設置。

2001年 大学院工学部研究科に物質化学専攻、情報電子工学専攻を1年制修士課程ITPCを開講。

2001年 シリコンバレーにアメリカ研究科を開講。

2002年 経済学部国際経済学専攻を国際経済学専攻として設置。

2002年 社会科学部研究科に政策科学専攻を設置。

2002年 社会科学部研究科にメディア社会学専攻を設置。

2003年 大学院人間社会科学研究科福祉社会学専攻、臨床心理学専攻修士課程、人間福祉専攻修士課程を設置。

2003年 情報科学研究科情報科学専攻を設置。

2003年 「21世紀COEプログラム」に「日本発信の国際日本学の構築」が採択される。

2003年 文学部に心理学科を設置。

注2

高等教育・大学7つの機能

①世界的研究・教育拠点

②高度専門職業人養成

③幅広い職業人養成

④総合的教養教育

⑤特定の専門的分野(芸術、体育等)の教育研究

⑥社会貢献機能(地域貢献、産官学連携等)

注3(ひと)

戸谷敏之(1912〜1994年)昭和初期の歴史学者。「近世小作制度の態様と変質について」「徳川時代における農業経営における諸類型」などの論文がある。在学中に法政大学経済学部の学生雑誌『経範』第16号(1938年6月発行)に掲載された「イギリス・ヨーロッパの研究」が注目された。

注4(ことば)

二ト(Not In Education, Employment, Training) 二学校に行かず、仕事もせず、職業訓練も受けていない若者を言う。

この二ト人口は00年の時点の75万1千人から、05年87万3千人、2010年には100万人規模に膨らむと試算されている。第一生命経済研究所は「消費の抑制や労働人口の現象による潜在成長率の低下も懸念される。03年GDPは約0.15%押し下げられた。」と報告している。

参考資料

雑誌「法政」

04年7・8月合併号

総長が語る「大学制度の改革と法政大学の課題」

法政 7.8

大学がどう対応すべきか。法政大学で改革を進める著者が豊富な経験を踏まえて、大学再生のあり方について論じた実践的論文集。法政大学の先進事例も多数紹介されている。

週刊 東洋経済

04.10.9号

「本気で強い大学」特集で有力160大学の最新決算と法政大学の評価も記述されている。

「法政大学」

日経BPMック「変革する大学」シリーズ

高度多機能大学

自立・活性化戦略

高度多機能大学として自立型人材の育成を目指す法政大学の現状と展望がまとめられている。

「法政大学」

高度多機能大学

自立・活性化戦略

高度多機能大学として自立型人材の育成を目指す法政大学の現状と展望がまとめられている。



「本気で強い大学」特集で有力160大学の最新決算と法政大学の評価も記述されている。

「法政大学」

高度多機能大学

自立・活性化戦略

高度多機能大学として自立型人材の育成を目指す法政大学の現状と展望がまとめられている。

「法政大学」

高度多機能大学

自立・活性化戦略

高度多機能大学として自立型人材の育成を目指す法政大学の現状と展望がまとめられている。

「法政大学」

高度多機能大学

自立・活性化戦略

高度多機能大学として自立型人材の育成を目指す法政大学の現状と展望がまとめられている。

「法政大学」

高度多機能大学

自立・活性化戦略

高度多機能大学として自立型人材の育成を目指す法政大学の現状と展望がまとめられている。

「法政大学」

高度多機能大学

自立・活性化戦略

高度多機能大学として自立型人材の育成を目指す法政大学の現状と展望がまとめられている。

「法政大学」

高度多機能大学

自立・活性化戦略

高度多機能大学として自立型人材の育成を目指す法政大学の現状と展望がまとめられている。

「法政大学」

高度多機能大学

自立・活性化戦略

高度多機能大学として自立型人材の育成を目指す法政大学の現状と展望がまとめられている。

多摩キャンパスで「就職セミナー」開催

多摩キャンパスにおいて「第11回就職セミナー」が2004年10月19日(火)に開催された。このセミナーは経済学部同窓会と社会学部同窓会の共催で、経済・社会・現代福祉学部教授会が後援している。毎年、評判がよく、今回は2000人を超える学生がB棟301教室に集まった。

経済・社会・現代福祉の3学部長の挨拶があり、第一回は講演が3つ、第二回は懇親会という構成であった。



「私の就職戦線」(TB Sアナウンサーの堀井美香氏)では、アナウンサーという職業の裏話をまじえ、どのような人物が求められるかを講演。

「都庁が求める人物像」(東京都水道局北部支所副支所長の糟谷孝二氏)は仕事と関係で講演に出席する。

「私の就職戦線」(TB Sアナウンサーの堀井美香氏)では、アナウンサーという職業の裏話をまじえ、どのような人物が求められるかを講演。

企業が参加 多摩キャンパス開設20周年記念行事

ユニヴァーサルデザイン展示会

2004年10月9日に開催された「多摩キャンパス開設20周年記念シンポジウム」は台風22号接近のため12月4日に、式典と祝賀会は12月11日に延期となった。

この展示会は、すべての人々のよりよい生活を目指す「ユニヴァーサルデザイン」(健康で幸福な暮らし)の実現をコンセプトにした商品を展示していた。

東京トヨペットと東京トヨタからは福祉カー、乗降



多摩キャンパスで記念講演 田中優子さん



田中優子社会学部教授が「一葉の真実・樋口一葉の可能性」と題して04年11月8日に講演を行った。

樋口一葉は1872年生まれで、24歳の1896年11月に亡くなった。簡単な年譜紹介をした後、当時の日本の状況を説明し、「十三夜」から、一葉をめぐる3人の男性にふれ、「たけくらべ」の作品へと話を移していった。「十三夜」に見る『いやだ!』の時代、というところで、嫌なもの嫌だとはっきり言ってしまう人力車夫の言葉を出して、これは一葉自身の言葉として表現したもの、という主張は、耳を傾けるものがある。この作品は吉原遊郭の中の季節の移り変わりを非常にうまく語っている。

「困難な時代に立ち向かった一葉の魂のメッセージ」だと言っている。

一葉をめぐる実際の男性たち(渋谷三郎、半井桃水、久佐義孝)と一葉の書いたものを調べることに、一葉の考え方がわかってくる。一葉の作品に登場する男性たちを調べることは、男性の登場人物に一葉が自己投入しているのだから、田中さんは語っている。

「たけくらべ」の中の音曲を、テープを一部聴きながらからの説明は新鮮な感じを聴衆に与えた。木遣り音頭や太神楽、新内など、「たけくらべ」はうきうきとしたにぎやかな音が聞こえてくる作品であり、当時の読者はこの作品を読みながらいろいろな音曲が聞こえていたことを忘れてはならないという主張は、耳を傾けるものがある。

を傾けるものがある。この作品は吉原遊郭の中の季節の移り変わりを非常にうまく語っている。

日清戦争当時の社会に漂う雰囲気、そして欧米に追いつけ追い越せという時代、その路線とは逆の道を一葉は歩んでる。一葉は地位や富貴には価値を置かず、立身出世を求めるといふことよりも、たとえ小町の行く末のように落ちるところまで落ちてしまいたいという感じを持って、自分らしさを失わずに短い生涯を生きた女性であった。

04年10月26日(火)、経済学部棟10号館201教室において約200人の聴衆を前に国際基督教大学の八田達夫教授が「日本経済の再生と東京」という題で講演を行った。

戦後の経済成長の中で50万人以上の都市は伸び、50万人以上の都市は枯れていったというデータに基づき、分析と解説をわかりやすく講演していた。

東京が成長した要因の一つに、交通機関の発達で時間と交通費が変化し、というところがあり、関西や九州から東京は日帰りが可能になったことで、西日本経済圏の中心都市、大阪は必要性が薄れてきた、と説明していた。

通勤鉄道混雑緩和策として、鉄道のピークロード混雑料金について述べ、ピーク時に交通料金を高くし、オフ・ピーク時には無料にされるようにすればよい、というユニークな意見には、聞いていた学生から質問が出た。

(取材・写真 石川郁二)

大学の知的財産を活用 多摩キャンパスに オフィス開設

「大学発ベンチャー」といふ言葉が毎日のように新聞紙上に並び、大学の持つ知的財産を活用した研究開発の企業提携や、学生が新しく事業を起したことが多摩キャンパス18号館には、教職員や院生・学生のベンチャーを支援することを目的にインキュベーション・オフィスが開設された。

このオフィスは、学内関係者だけでなく、社会貢献を目指すNPOや、自治体の事業を補完するコミュニティビジネス、シニアビジネスの研究などに活用する。

地域との共生に参画する法政大学

「地域の中小企業活性化と実践的体験教育」をテーマに文部科学省の「現代的教育二一五取組支援プログラム」に申請し、2004年9月に採用されて、約1500万円の予算がついた。これは東京都台東区にある中小企業の活性化支援を中心とした活動となる。

▼「茨城西部地域石材産地新活性化計画策定を茨城県から受託研究として受け入れ、2004年度内に成果報告書を出す予定になっている。最近、中国産の石材が安い価格で輸入され、石材業者の経営を圧迫している。茨城西部地域の石材産地をいかに活性化するかという大きな問題をかかえた新しい試みである。

▼「茨城西部地域石材産地新活性化計画策定を茨城県から受託研究として受け入れ、2004年度内に成果報告書を出す予定になっている。最近、中国産の石材が安い価格で輸入され、石材業者の経営を圧迫している。茨城西部地域の石材産地をいかに活性化するかという大きな問題をかかえた新しい試みである。

▼「武州御嶽山古文書 第一巻」金井家文書(一)が2004年3月に発行された。第二巻も2004年度内に刊行することになっている。この活動は1995年から青梅市との共同作業として本学名誉教授の村上直先生を中心に続けられてきた「武蔵御嶽山古文書調査」の一環である。

謹賀新年

- | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------------------|------------------------------|---|--|---|---|--|
| 法政大学校友連合会
会長 佐伯弘治
旧私法専攻1953年修
法政大学専攻1953年修
法政大学監事 | 法政大学校友連合会副会長(会長代行)
岩部金吾
経済学部1956年卒 | 法政大学
理事 山崎光雄
経済学部1958年卒 | 法政大学
理事 加藤正男
工学部1958年卒 | 法政大学校友連合会副会長(組織担当)
木山俊平
法学部1959年卒 | 法政大学校友連合会副会長(広報担当)
河端照孝
経営学部1963年卒 | 法政大学監事
アメリカンフットボール部OB会会長
大石勝康
経済学部1953年卒 | 法政大学校友連合会副会長
文学部同窓会
会長 長谷川克彦
文学部1949年卒 | 法政大学校友連合会副会長
社会学部同窓会
会長 鹿山秀佳
社会学部1959年卒 |
|---|--|-------------------------------|------------------------------|---|--|---|---|--|

地域支部・卒業生団体から

法学部1964年卒

学部同窓会から

法学部同窓会

16年度同窓会定期総会・懇談会報告

昨年6月26日(土)午後1時30分から東京千代田区の赤坂プリンスホテルで開催。本学出身のNHK野球解説者小早川毅彦氏による日米野球の比較やプロ野球界で得た体験をもとに球界への熱い思いなどの講演がおこなわれた。

定期総会では大幅に変更した会則の説明が詳細にわたっておこなわれた。

懇親会では、下森前総長、遠藤前最高裁判所判事、大島明治安田生命相談役、国会議員などの諸先輩を始め、北は北海道から南は沖縄まで全国各地から集まった会員があちこちで歓談の輪を広げた。

17年度祝賀会開催
3月24日(木)におこなわれる卒業式にあわせて、同学部卒業生の祝賀会を午後2時30分から開催予定(昨年は教授会との協賛で市ヶ谷校舎511番教室で開催)。詳細は同学部提示版に提示しますので、多数の参加をお待ちしております。

ホームページをリニューアル
さらに見やすく充実した内容にするともに会員の皆様へのお知らせなどの情報も盛り込みたいと考えています。U R L: <http://www.legal-union.jp> (03) 卒 長瀬達也

経営学部同窓会
同窓会主催の主な本年度事業計画を紹介する。参加費は無料(交通費等個人負担)。

定期総会
5月下旬、総会後、加賀見俊夫前エッセイスト・社長による記念講演を予定。会場はホアソナード・タワー産業情報センターセミナー室。

法政トップ・マネジメント・セミナー
7月上旬、講師に桜井正光リコー取締役社長、中川昭一経済産業省大臣、野良良治理化学研究所理事長の三氏を予定。会場はホアソナード・タワー26階スカイホール。

生産革新工場見学
6月にTOTO茅ヶ崎工場と三井平塚工場又は小田原工場見学会を、11月に松下通信工業横浜工場見学会を予定。

経営革新特別講演と就職シンポジウム
11月上旬、浦野光人ニチレイン社長と藤澤義之メルリンチ日本証券副会長の両氏による特別基調講演の後、パネリストに日本航空、NTTドコモ、三井不動産、花王の四社の人事担当者によるシンポジウム(13時から)を予定。

イブニングセミナー
文化・経済・経営・社会問題など時流にあったテーマによる講演会(18時30分から)を年3〜4回開催。

参加希望者は開催1カ月前までに同窓会事務局(電話・FAX 03・3264・4629又は電話03・3262・5271)までご連絡下さい。申し込み書をお送り致します。

卒業生の方々に経営学部同窓会への入会(年会費三千円)

文学部同窓会

定期総会

平成16年7月3日(土)開催した総会で役員改選がおこなわれ、新役員人事が承認された。

会長・長谷川克彦、顧問・三井嘉都夫、副会長・井坂義雄、杉本三郎、山崎敏夫、監査役・榎田啓介、安岡昭男、星ミユキ、幹事長・曾根充利、事務局・藤井耕治。

10月18日(月)開催した常任幹事会で、長谷川克彦会長病気のため、会長代行に井坂義雄副会長が選任された。

(71年卒 石川郁二)

社会学部同窓会

昨年7月、同窓会結成15周年総会・懇親会を開催

2004年度定期総会・懇親会が7月10日(土)開催された。

役員改選で森田忠男氏から鹿山秀佳氏(59年卒)への会長交代がおこなわれた。

講演会では、講演予定の湯川新教授が急病のため、「法政大学と戦後50年」の刊行を記念して編集委員の高橋彦博名誉教授に講演を依頼した。

多摩キャンパス開設20周年を祝う
昨年10月31日(日)多摩キャンパスに卒業生を招き開設20周年記念事業の一つ、ホームカミングデーが盛大におこなわれた。

100周年記念館で開催された懇親会パーティーに卒業生をはじめ現役学生、教職員あわせて2500人が参加、鹿山同窓会会長が祝辞を述べた。

会場ではゼミ・OBの交流も活発におこなわれ旧交を温める絶好の機会となった。

卒業生のキャリアアップに学ぶゼミナールを開催

工学部同窓会

工学部創立60周年と小金井移転40周年の記念式典・祝賀会を開催

昨年10月31日(日)小金井キャンパスで、工学部の創立60周年と小金井移転40周年を記念しての式典・祝賀会が約500人の参加のもとに開かれた。会では工学部が主催、同窓会共催、経営者懇談会・校友連合会・工体連合会の後援によって企画された。大学からは清成忠男総長、平林千牧、金子征史、白井五郎各常務理事をはじめ、教職員約150人が参加した。卒業生からも、上場を果たした日本ハウスインク(株)代表取締役の小佐野文雄氏、工学部初の本学名誉博士となった松本孝利

氏らほか、各学部同窓会から多数の出席があった。

式典は春日隆教授会長の司会ではじまり、清成総長の式辞、西海英雄工学部長の挨拶、小池誠彦情報学部長、阿部肇工学部同窓会会長、山内朗弘後援会長の祝辞で進められた後、記念講演に移った。

講演は西海工学部長の「工学部教育改革60年の展望」と清成教授の「感動の瞬間」について、祝賀会では安藤直見教授会長の司会進行で、白井五郎常務理事の挨拶、小佐野文雄経営者懇談会会長の祝辞、鏡割り、青木繁名誉教授の発声による乾杯、祝賀となった。宴では工学部マンドリンクラブの演奏、応援団チアガールの演技が華を添えた。

最後に工学部の発展、大学の改革と成長を祈念しての校歌斉唱、佐藤良一同窓会実行委員長の前での祝辞、祝賀の内に閉会となった。

尚、当日の参加者から「新渇中越地震」の被災者に対しての義援金105,686円が集められ、「法政大学工学部同窓会」の名で、大学を通して届けられた。

(66年卒 阿部 肇)

経済学部同窓会

ホームカミングデーで経済学部懇親会開催

昨年10月31日(日)多摩キャンパス開設20周年記念の本学名誉博士となった松本孝利

氏らほか、各学部同窓会から多数の出席があった。

式典は春日隆教授会長の司会ではじまり、清成総長の式辞、西海英雄工学部長の挨拶、小池誠彦情報学部長、阿部肇工学部同窓会会長、山内朗弘後援会長の祝辞で進められた後、記念講演に移った。

講演は西海工学部長の「工学部教育改革60年の展望」と清成教授の「感動の瞬間」について、祝賀会では安藤直見教授会長の司会進行で、白井五郎常務理事の挨拶、小佐野文雄経営者懇談会会長の祝辞、鏡割り、青木繁名誉教授の発声による乾杯、祝賀となった。宴では工学部マンドリンクラブの演奏、応援団チアガールの演技が華を添えた。

経済学部同窓会

恒例の忘年パーティーで山本真鳥教授の講演

昨年12月5日(日)14時から東京・市ヶ谷のホアソナード・タワー26階スカイホールで同窓会恒例の忘年会が開催された。忘年会に先立ち、経済学部教授山本真鳥さんの「21世紀のオセアニア」と題する講演。あわせて25階会議室で「ゼミナール代表者との懇談会」を同窓会役員参加のもとで開かれた。

忘年会では電見経済学部長の挨拶、平林常務理事の大学近況報告のち長寿会員の表彰報告があり乾杯、懇談会となった。懇談会では忘年パーティー開催前に開かれたゼミ連代表者懇談会出席者の紹介などがあり、アトラクション、校歌斉唱と大いに盛り上がり、校歌を締めくくりに、参加者全員で健康を祈念し、新しい年での再会を約した。

「初詣浅草寺と隅田川七福神めぐり」
05年1月7日(金)10時東武浅草駅集合。会費5000円(昼食、酒またはビール1本付き)。食事処・浅草雷門前「葵丸進」・会員の幸福招来を願う七福神めぐりコース。東武浅草駅・同雷門駅、多聞寺(毘沙門天)、白鬚神社(寿老人)、向島百花園(福祿寺)、長命寺(弁財天)、興福寺(布袋尊)、三神神社(恵比寿・大黒天)。昼食14時頃まで浅草寺で自由解散。担当・藤原速雄 045-1331-5564

根岸の里散策と「笹の雪」豆腐料理
3月12日(土)10時JR鷺谷駅北口集合。根岸三平堂林家(三平資料館)、相田みつを

「笹の雪」豆腐料理
3月12日(土)10時JR鷺谷駅北口集合。根岸三平堂林家(三平資料館)、相田みつを

山陰ツアーと鳥取法友会との交流
5月下旬、鳥取、島根の歴

文化財で北国に春を呼ぶ郷土芸能「えんぶり」を鑑賞しながら歓談のひとときを過ごした。最後に山口広道八戸支部会員を代表とする元スピードスケート部員による応援歌「若き日の誇り」と田中啓司宮城支部会員のリードで校歌を斉唱し、秋元勝博青森支部連合会副会長のお開きで第一日を閉じた。

第二日は、20名が参加して岩手県軽米町のカントリークラブで記念ゴルフ大会がおこなわれ、またエクスカーションは縄文時代晩期の遺物を展示している縄文博物館を中心とした市内観光をおこない、二日間わたる八戸大会を終了した。

(八戸支部・巻文一郎)

茨城県南法友会
昨年9月に総会・懇親会を開催

茨城県南法友会の04年度、総会・懇親会が9月25日(土)16時から上浦市の京成ホテルで開催された。

総会は物故者への黙とうの後、栗山副会長のあいさつで史を訪ね、地方の法政出身者との交歓会を予定。

担当・土屋勇吉 047-485-2359。

法政大学校友連合会

大分支部

田北昭二大分支部長、大分合同新聞文化賞受賞
2004年度・第56回大分合同新聞文化賞の表彰式が11月3日大分市の大分合同新聞社でおこなわれた。

御手洗富士夫キャノン社長と坂本和立命館大学副総長に特別賞。教育分野で大分県文化向上に努めた田北昭二田北学院理事長(53年社会学部卒大分支部長)が永年の貢献により文化賞を受賞した。

担当・金子啓三 046-241-1942。

他学部、家族連れの参加も歓迎。希望者は担当者までご連絡下さい。同窓会入会も受付中。同窓会事務局山内次郎 042-1783-2550

代表 小川隆夫
経済学部1953年卒

代表 柳澤千昭
法学部1951年卒

代表 吉田昭典
経済学部1951年卒

代表 星野次男
経済学部1951年卒

代表 末石恒夫
経済学部(旧)1951年卒

代表 稲野邊良一
経済学部1951年卒

代表 古市實
経済学部1944年卒

代表 今井正七
経済学部1942年卒

代表 宮川誠也
経済学部1937年卒

法政大学評議員

経営学部同窓会副会長

鈴木俊昭
経営学部1965年卒

支部長
宮川誠也
経済学部1937年卒

重細重親善「友の会」会長
法政大学校友連合会横浜支部支部長
株式会社 富士見コーポレーション
代表取締役
今井正七
経済学部1942年卒

特殊機械工業株式会社
法政大学関西校友会
会長
古市實
経済学部1944年卒

不動産鑑定士 檜法会
会長
稲野邊良一
経済学部1951年卒

会長
末石恒夫
経済学部(旧)1951年卒

会長
星野次男
経済学部1951年卒

会長
吉田昭典
経済学部1951年卒

会長
柳澤千昭
法学部1951年卒

弁護士
弁護士
柳澤千昭
法学部1951年卒

中国料理 又一順
代表
小川隆夫
経済学部1953年卒



初詣で賑わう毘沙門天善國寺①

なつかしい街 魅力いっぱい神楽坂 昔ながらの粋な街

皆さんの学生時代と大変関わりがあった思い出深い街、神楽坂。六大学野球で優勝した時の提灯行列やゼミ・コンパの会合などの楽しい思い出が沢山あると思う。また、現在も坂と路地の独特な雰囲気を舞台に、伝統的なものからモダンな店まで幅広く交差して賑わっており、同時に花柳界を控える粋な花街でもあり、伝統芸能や芸術文化の息づく街となっている。こんな魅力いっぱいの神楽坂を特集してみた。少しでも学生時代を懐かしく思い出していただき、機会があればぜひ

この神楽坂に出かけてはいいかが。神楽坂の話に移る前に少し寄り道になるが、大先輩OBの誰かが記憶にあると思われる外堀のボート乗場(1918年創業の東京水上倶楽部)を覚えていますか? 現在は、ボート乗場のサイドに「レストラン CANAL CAFE」があり、ここから外堀の対面に高く聳え立つ我が母校ボアソナード・タワーが眺望でき、あたかも水上レストランの雰囲気を漂わせている。最高のお薦めは夕暮れ時、ここでお茶を飲んで、神楽坂へ足を進めてみたい。

若者たちをひきつける町
田中優子さん
(法政大学社会学部教授)
若者さんといつしやるし、きどつてない庶民の町で、人々の足音が聞こえる町。
お店の旦那さんたちが、落語や江戸らしいものを大切に残して、それで若者たちを惹きつける町づくりをしている、意気込みのある町。(石川郁二取材)



初詣 1月11日 神楽坂の中心的存在の毘沙門天は、山ノ手七福神の一つとして初詣に賑わう。
節分 2月11日 毘沙門天の節分豆まきは、甘酒が振舞われる。太神樂の奉納や獅子舞が町内を巡り江戸情緒が楽しめる。3月上旬に神楽坂ゴミゼロ実験。
桜 3月下旬〜4月上旬 毘沙門天境内の桜見物。芸妓衆の踊りのお披露目をする「華の会」が神楽坂芸妓組合にて開催される。
産直 5月11日の日に 毘沙門天前で山形県産物の産直「んてが」が開始。
青空市 6月11日 神楽坂商店街振興組合主催の「春の青空市」。

ほおずき市 7月下旬に「神楽坂まつり」が開催され、祭りの中に「ほおずき市」や「阿波踊り」など賑わう。9月11日 地元の赤城神社、筑土八幡、若宮
神楽坂まつり 毎月たくさん開催される中、最大のイベントは、7月下旬の夏の夜の祭典「神楽坂まつり」である。まず始

灸ほろく 次と同寺の主催する「灸ほろく」が行われる。頭の上に乗せた灸ほろく(素焼きの皿)の上でもぐさを焚いて景氣払いをする。ともに、健康を祈願するもので、300年の歴史をもつ伝統行事。まつりのクライマックスは「阿波踊り大会」で、2日間神楽坂下から坂上に向かって地元商店会の若旦那やちびっ子たちの連など1日約15連が威勢よく練り歩く。誰でも参加できる阿波踊り練習会は毘沙門天書院にて6月下旬から7月にかけて開かれる。(皆さんも賑やかな神楽坂イベントに参加すれば貴方自身の楽しみを見つけれることでしょう。)



JR飯田橋駅より牛込橋を渡ると神楽坂①



神楽坂下より「神楽坂通り商店会」②

四季おりおり賑わう 神楽坂歳時記

神楽坂の歳時を日を追ってみよう。春夏秋冬そのときどきの楽しみがある。祭りの楽しさは格別だ。



阿波踊りがねり歩く

めに「ほおずき市」で幕が開く。毘沙門天(善國寺)を中心に鮮やかな朱色の実をつけた鉢が屋台にズラリと並び、また、境内では納涼ビアガーデンや楽しいアトラクションも行われる。

学生時代ふりかえる 神楽坂を1960年代

私の大学時代(昭和36年〜40年)を振り返ってみると、学校に登校するのは一週間のうち4、5日であったが、そのうち授業を受講したのは3日くらいで、後の2日は学友仲間と食事や映画を観たり、ボウリングをしたり、また多くの学生が雀荘でマージャンに熱中するなど多くの楽しみを与えてくれた場所が神楽坂であった。腹がへてくると、学校でなく、ボート乗り場の隣の「キッチン熊」(現在は「レストラン CANAL CAFE」)や坂下の「カレー南海」(現在はラーメン屋)などでよく食事をした。時間があるとき坂下右側にあった「佳作座」で数ヶ月遅れのロード

シヨを覗いたり(現在はパチンコ店)、タバコが欲しいなれば景品獲得のため坂下左側のパチンコ「ニューバリー」(現在はパチスロ・NEW PARIIS)で懸命になって玉打ちをし、その後隣の喫茶店「カーネギー」で長時間だべったりした。また、6大学野球で優勝すると多くの学生が提灯行列で賑わう神楽坂に繰り出したが、我々仲間はずれか銀座に繰り出してパブパーティー。このことは当時の神楽坂の数々の思い出が私の青春時代の宝物である。(65年文学部卒丸山堅司)

は花柳界が盛んであり、この夜の飲食はえらく高つくつという固定観念があったことも一因であった。今振り返ってみると神楽坂での数々の思い出が私の青春時代の宝物である。
神楽坂の由来
東京都新宿区の北東部の一部、神楽坂1丁目から3丁目の坂とその周辺。江戸城外堀を守る牛込見附から山手台地へ上る坂の名。市ヶ谷八幡や高田六八幡の所がここに設けられて神楽を奏したことから由来するとの説もある。江戸時代は武家屋敷と寺地だったが、山ノ手七福神の一つ毘沙門天(日蓮宗善國寺)の門前町として栄え、商店や待合、遊郭が並び、明治の中頃から昭和の初期にかけて山手随一の盛り場となっていた。尾崎紅葉、山田美妙、広津和郎、田山花袋、島村抱月など昭和初期には文学者、演劇人などによって、花街や緑日の賑やかさが紹介されて、神楽坂は新宿を凌ぐ盛り場だった。ところが第2次世界大戦の戦災に会い以後、商店街としての要素が強くなった。とはいえ老舗や料亭の佇まいもあり今でも当時を偲ばせる。交通も便利で、地下鉄南北線・有楽町線飯田橋駅、東西線神楽坂駅、JR総武線飯田橋駅に近く、現在では商店街の賑やかさを取り戻し新しい店と老舗が調和して活気のある街となっている。資料(日本大百科全書・世界大百科事典)



歴史標を見かけた。



第2回法政大学 伝統芸能鑑賞集

昨年12月3日、ボアソナー・タワー「スカイホール」で、冒頭の催しが千代田区、新宿区、神楽坂の商店会など地域の協力で開かれた。テーマは、「明治の天才作家、樋口大祐、泉鏡花を聴く、観る会」で超満員。出演者は日本舞踏の花柳比奈

代、女優水谷八重子、新内節、浄瑠璃の人間国宝鶴賀若狭など。「神楽坂ゆかりの泉鏡花」では、先に法政大学校友会が大学に寄贈した場所が泉鏡花の旧居住跡地であったことが披露された。また、泉鏡花「姉妹図」での「お鶴」のモデルが泉

鏡花夫人伊藤みづ子で、神楽坂芸者桃太郎であった。水谷八重子さんの母親は神楽坂生まれ。新内の鶴賀若狭も神楽坂生まれ、同育ち。神楽坂に縁の深い法政大学と地域との共生イベントに、聴衆は伝統芸能を堪能した。(丸山堅司)

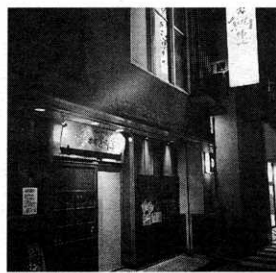


本多横丁商店会



坂上の「神楽坂商店街振興組合」

「志満金」創業以来130年、1世紀を超える長い歴史の中で創り出されてきた「たれ」は、日本の心を大切にした志満金の味です。厳選された四季折々の食材、その味を生かした料理、見事な盛り付け、気品ある器や調度品でおもてな



「志満金」



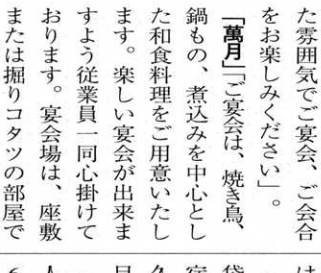
「志満金」

「神楽坂の料亭」現在、神楽坂には10軒の料亭と約50人の芸者がいる。「東京神楽坂組合」に所属。石畳の細い路地を入ると江戸情緒の残り料亭や店がある。昨今では料亭ランチを手軽に利用できる店もある。

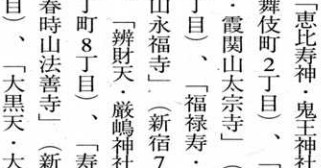


「志満金」

「鮎忠」味わいの宴会は、会食コース、宴コース等で、会話がはずみ笑顔が広がる満足なひと時をどうぞお過ごしください。料理は趣向をこらしてどなたにも満足いただけるよう細やかな心配りでおもてなしいたします。ご宴会・ご会合などは3階にてご利用いただきます。または掘りコタツの部屋で5〜35名様まで承ります。



「鮎忠」



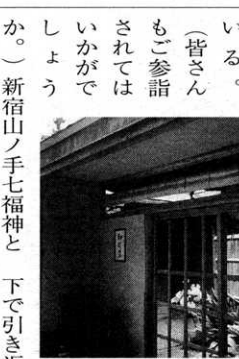
「志満金」

「神楽坂の料亭」現在、神楽坂には10軒の料亭と約50人の芸者がいる。「東京神楽坂組合」に所属。石畳の細い路地を入ると江戸情緒の残り料亭や店がある。昨今では料亭ランチを手軽に利用できる店もある。



「志満金」

ゼミ・コンパでなつかしの 商店街を訪ねる

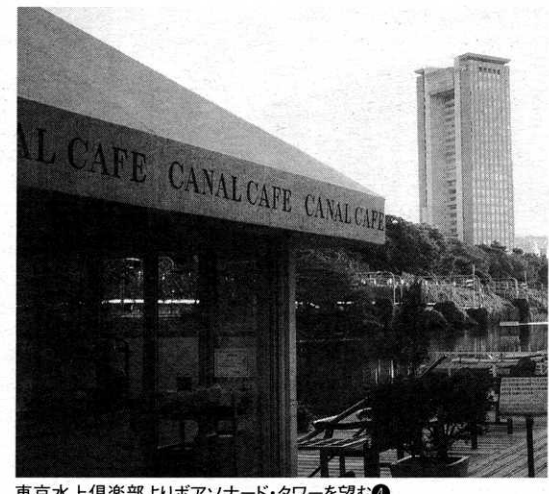


「旅館 和可菜」

「旅館 和可菜」神楽坂の坂道を登り石畳の続く細い路地を奥へと歩くと、黒板の当館が姿を現す。創業以来、多くの作家、脚本家、劇作家が滞在し、ここから数々の名作が誕生したところから「ホン書き旅館」と呼ばれるようになった。また、さまざまな分野で活躍した人たちが「出世旅館」とも呼ばれた。女将による「昔の学生さん」は坂



「志満金」



東京水上倶楽部よりボアソナー・タワーを望む

「みどころ」
「毘沙門天・鎮護山善國寺」(神楽坂5丁目)の7神社仏閣。
「旅館 和可菜」神楽坂の坂道を登り石畳の続く細い路地を奥へと歩くと、黒板の当館が姿を現す。創業以来、多くの作家、脚本家、劇作家が滞在し、ここから数々の名作が誕生したところから「ホン書き旅館」と呼ばれるようになった。また、さまざまな分野で活躍した人たちが「出世旅館」とも呼ばれた。女将による「昔の学生さん」は坂



「志満金」

老舗・有名店



「五十番」

商店街小史

井上明久 萩野健 中央公論社「早稲田神楽坂」◇「江戸・東京」地名を歩くリュウ・ブックスアステ新書古川愛哲 経済界◇Kimonoあそび「神楽坂をきもので散歩する」◇神楽坂ホン書き旅館「黒川鐘信 日本放送出版協会」今井正、内田吐夢、石堂朗、市川森一、野坂昭如、色川武大、村松友規など日本を代表する映画監督、脚本家、作家たちを神楽坂の一角で48年間にわたって支えてきた旅館和可菜の女将が語る執筆現場での秘話◇「じーさん武勇伝」竹内真 講談社「神楽坂ファミリア」◇神楽坂一矢田津世子 講談社文芸文庫◇大東京繁盛記「山手編」平凡社ライブラリー藤森成吉著「早稲田神楽坂」◇岩野泡鳴全集 第七巻「臨川書店」神楽坂下

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

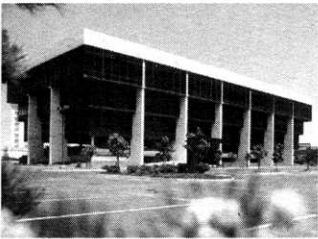
取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

取材に協力いただきありがとうございます。

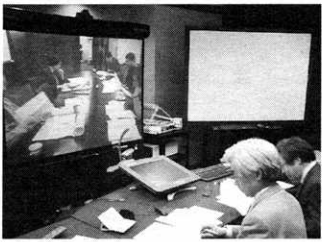


情報技術 (Information Technology) の最近の発展は、個人のライフスタイル

法政大学アメリカ研究所

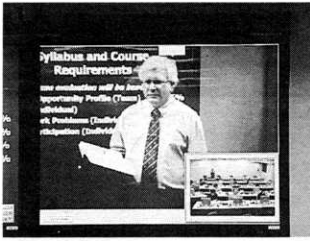
法政の誇る研究所紹介 ⑥

から社会構造まで変えてきた。コンピュータを取りまく環境は、急速かつ大きく変化しています。このような時代の流れの中で、大学は教育・研究において質を上げ、国際的基準を満たす必要があります。こうした課題にこたえるために、創立120周年を記念して、2000年に研究所は発足しました。研究所は力

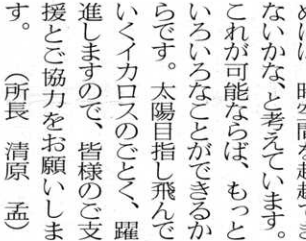


リフォルニア州バークレー市にありますが、シリコンバレーと言ったほうがわかりやすいかもしれません。アメリカ研究所の使命は二つあります。世界のハイテク・ソフトウェアの中心地であるサンフランシスコ・ベイエリアにおいて、日本の学生に実践的な教育機会を提供することが一つ、もう一つは、21世紀の人類に貢献するテクノロジー研究、特にIT及びバイオインフ

ーマティクス分野における研究です。市ヶ谷にある法政大学情報技術 (IT) 研究センターと連携しながら、さまざまなプロジェクトを推進しています。ITを駆使したマルチメディア教育・研究



めには、時空間を超越できないかな、と考えています。これが可能ならば、もっといろいろなことができるからです。太陽目指し飛んでいくイカロスのごとく、躍進します。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。(所長 清原 孟)



たえば、「IT関連分野の研究」、「ディスタンスラーニングプログラム」、「国際会議および遠隔シンポジウム・セミナーの開催」、「PreWebプログラムの実施」、「K-12バーチャルスクールプログラム」、「IT援用語学教育システムの開発」などがあります。今年、ITを援用した語学教育システムの開発が私の課題です。日常的に英語に接する環境をサイバースペースに構築し、英語によるコミュニケーション能力を飛躍的に高める方法を開発することです。そのた



法政大学校友連合会代表議員会議

臨時代表議員会議

本部機構と会費規程
会則改正承認する
04年11月27日(日)
午後11時30分から赤坂プリンスホテルで代表議員90人が参加して開催された。

総会の議題は法政大学校友連合会会則の改正案の審議、冒頭、佐伯弘治校友連合会長が挨拶で、新組織の校友連合会のこれまでの活動の経緯を説く中で「今回の会則改正を組織運営上の観点からの一歩前進と捉えて、十分な審議を尽くして欲しい」と述べた。また、平成17年に私立学校法が改正されることに触れ、これにともなう私立大学の公共性、経営の透明性を高めることなどが加わり、第三者による評議員の重要性、現在と今後の法政大学と卒業生組織の有り様を語った。来賓に、金子征史常務理事、恵良郁文総務部渉外担当部長が出席。来賓を代表して金子常務理事の挨拶があった。

会則改正の審議にあたって、福島県支部、山口県支部、一穂クラブ、工学部同窓会、社会学部、経済学部同窓会などから改正案について代表議員名簿と個人会員数の開示、組織のあり方、会費の問題、改定に至る手続き上の問題などの質問、提案がなされた。特別に佐伯会長から「社会学部同窓会、経済学部同窓会の意見を議事録に明記し、その精神を今後の運営に活かすことを条件にし、建設的にまとめていきたい」との発言があり、審議採決に入った。結果、参加代表議員90人の3分の2にあたる60人の賛成を得て改正案は可決・承認された。施行は05年4月1日からとなる。会則改正の骨子は本部機構と会費規程となっている。

第11条、理事は各構成団体を代表し、当該所属団体の意向をこの会に反映させることとする。(役員会)
第21条、役員会は、会長、副会長及び構成団体より選出された理事をもって構成する。
第22条、委員会は、60名以内の委員をもって構成する。
(その他の会則) この項廃止。
(正副会長会議)
23条、正副会長は、会長、副会長の長をもって構成する。
24条、正副会長会議は、代表議員会議の承認に基づき、この運営にあたる。
25条、正副会長会議は、会務運営にあたり、その業務の一部を委員に代行させることができる。
26条、正副会長会議は、監事及び各委員を出席させることができる。但し、議決権は有しない。
27条、正副会長会議は、次の事項を行う会の運営の責任を負う。
(1)会の基本方針の作成、決定
(2)会の通常業務の推進
(3)役員専任規程(追加)
第3条、2、副会長は、第4条による理事の互選により選出される。3、会長は指名による副会長を1名推薦することができる。
第4条、次の区分による会員より、理事を推薦し、代表議員会議に報告する。
(1)全地域団体より10名以内
(2)各学部同窓会より1名
(3)各付属校同窓会より1名
(4)全卒業生団体より10名以内

第3回代表議員会議 04年7月
校友連合会2004年度代表議員会議は、04年7月17日(土)14時からホアソナード・タワー26階スカイホールで開催された。役員会から提案の議案は、いずれも原案通り承認された。連合会と母校との連携さらに深まる

ばに続いて、2002年10月会長就任以来、校友連合会を健全な校友組織に整備するために、4つの課題として、1、校友会館跡地の処理を支援する2、校友連合会の機能を高めるべく、現行の会則を見直す検討委員会を設置する3、母校との信頼関係を構築するために卒業生が母校を支えようとする組織をつくる(大学が今年度新設した校友との窓口「渉外・庶務課」とタイアップして連合会の事務局を強化する)4、会員の拡大と財源の確保を図ること(大学の協力を得るなど)の「代理徴収」ではなく応分の負担をしてもらう納入の事務手続きを実施するに取組み、来年3月末までに少しでも道筋をつけたと述べた。

海外交流
北京
定期総会開催
日本から12人が参加
設立2周年記念総会が、2004年6月20日(日)北京市内、会場「焼肉苑」で開催された。当日は日本より総会応援アに参加した12人が出席、中国側は北京市内の在住者、赴者10人、香港華南地区からの出席者2人と合計24人で盛大に開催された。総会には司会楠路子・潘楠・福留博等によって進められ、曹京鉉会長が「2003年はSARS問題で開会できず、今日の会となったが、今後の発展を期す」と挨拶された。法政大学校友連合会代表挨拶は佐伯弘治会長のお祝メッセージを中野忠氏が紹介し、法政大学金子征史常務理事のメッセージを佐藤忠雄氏が読み上げた。続いて経営学部同窓会は河端孝孝会長のメッセージを久保田和則氏が、経済学部同窓会は岩部金吾会長のメッセージを森田氏が、工学部同窓会は大島光雄氏がそれぞれ披露。続いて、法政チャイナの自己紹介をおこなった。懇親会は、中野忠氏が法政チャイナの発展を期しての乾杯で始まり、近況報告と昔話に花が咲き、和やかなうちに時間の過ぎることを忘れ込んだ。最後はリーダー久保田和則氏による校歌斉唱で閉会となった。今後は、北京との情報交



台湾
台湾校友会と交歓会
現地30人が参加
経済学部同窓会では04年11月21日から5日間、台湾旅行を実施した。参加者は他学部校友2人を含めて27人で、高雄、台南、台中、台北など都市部の名所と山岳部に位置する高砂族の集落、鳥来の各地を旅した。

香港
法政チャイナ「香港華南地区」と交流
2004年11月10日、元校友役員有志による親睦団体「誕生会」のメンバー13人(夫々2人)が香港旅行をした際、鈴木章事務局長の連絡で香港を中心として活躍している卒業生の集まりである「香港華南地区」メンバーとの交流が実現した。会場の上海料理留園雅叙には現地から14人(夫々1人)が出席し、瀬田地区長の「歓迎挨拶と香港事情」、阿部肇氏からの「校友連合会の現状」に続き、参加者の自己紹介ののち楽しい懇談となった。

法政大学校友連合会
代表取締役
長谷川 龍雄
経済学部1953年卒

法政大学校友連合会
代表取締役
相川 欣運
経済学部1957年卒

法政大学校友連合会
代表取締役
藤原 速夫
経済学部1957年卒

法政大学校友連合会
代表取締役
石井 照明
経済学部1959年卒

法政大学校友連合会
代表取締役
鈴木 章孔
社会学部1959年卒

法政大学校友連合会
代表取締役
鈴木 公夫
工学部1959年卒

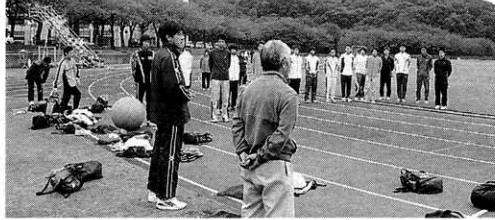
法政大学校友連合会
代表取締役
岩村 元雄
経済学部1960年卒

法政大学校友連合会
代表取締役
打越 勲
経済学部1960年卒

法政大学校友連合会
代表取締役
遠藤 隆三
経済学部1960年卒

「箱根の夢」を追う男たち

駅伝軍団を多摩キャンパスに訪ねて



練習前のミーティング風景

正月と言えは「箱根駅伝」駅伝と言えは法政…とまではいかないが、期待・興奮・感動で全国のOBを巻き込んでいるのが正月駅伝。その駅伝で昨今グンと評価を高めているのが「法政」である。さて、2005年正月駅伝、おみくじは大吉と出たが、果たして結果はどうか…?

文武両道、駅伝も教育も作用する。

我が法政チームは駅伝出場69回、全大学中第4位と大変な歴史を持つが、残念ながらまた「優勝」の経験が無い。せめて一度でも、このOBの期待は大きいが、そう簡単にはいかない。実力を超えた「運」

卒業後の人生修行も視野に入れた(刈谷部長 法政駅伝コース)に共感した選手が入学してくることに。さて、入部した学生は全員多摩キャンパスの宿舎で4年間共同生活を送る。とはいっても、授業あつての学生生活、練習は早朝や放課後となる。箱根を控えての今のスケジュールは、6時起床、毎朝13キロの走破、放課後は20キロの過酷な練習が待っている。この間各種のレースや遠隔地での合宿に入るから帰郷している暇など無い。まさに「修行僧の世界」(刈谷部長 笑)、箱根で脚光を浴びるのも夢ではない。いま法政軍団を引っ張るのは成田監督、1956年

少ない。留学生は、まず三四年を日本語習得に費やし、その後、専門分野の学校へ進みさらに三、四年を費やさなければ専門の学問・研究を修められないので、逡巡して初志を果たせない者も多い。そこで、和仏法律学校は、「今清国」の文脈とを争はんとして、欲せは必ず立憲、行政の釐革(「改革」)を行はざるべからずと之に関する学術を講究するは実に急務なり」と見、清国人留学生・通論及民法・国法学・刑法・請をいれ、清など六学科、後期も商法・行政法・民刑訴訟法など六の賛成を得て、この法政速成科は六年に梅が清国を訪れ、袁世凱らに会って清国側の希望を聞き、速成科の募集を中止する(「さねとうけいしゅう」中史「および前

シリーズ 法政大学の歴史(4)

100年前に

中国人留学生を受入れ

今から百年前の一九〇四(明治三十七)年、本学と中国速成科を置くことを認可(当時清国)人留学生とされた(『法政大学史料の關係に新たな頁が開かれた』第一集)。この背景には次のような事情があつた。

前年八月、専門学校令に基づき設立認可された財団法人和仏法律学校法政大学新のときを迎え、日本に留

進達を提出し、四月三〇日律・政治を修める者はなお



民族魂

速成科を設けたというので、速成科の募集を中止する(「さねとうけいしゅう」中史「および前

サッカー部1部昇格 18年ぶりの快挙

体育会サッカー部監督 照井 博 康

(78年社会学部卒)

関東大学サッカーリーグ戦で2部優勝を果たし、18年ぶりにサッカー部は1部昇格となった。この間、1部との入替戦に出場してきしたが、1部校に敗れ昇格することができなかった。リ

2005年・応援団80周年

神宮球場に オレンジカラーの人の輪を！ オール法政神宮友の会



東京六大学野球秋季リーグで、法政大学は9月20日対立教大学戦で勝利。それは輝かしい1000勝記念達成の瞬間であった。1926年六大学リーグ戦初勝利から78年の時を重ねての快挙である。また、個人とチーム共にシーズン最多ホームラン記録の更新もあつた。04年秋季のリーグ成績

法政出身の国会議員・新市長

は残念ながら2位であったが、05年春のリーグ戦では久々の優勝を期待している。そして、2005年は応援団が創立80周年を迎える。先輩たちが築き上げた伝統と精神が脈々と受け継がれていくことを見守り、応援していきたい。

- ◇参議院議員 松下新平氏 1992年法学部卒業
- ◇日向市長 黒木健二氏 1965年法学部卒業
- ◇村山市長 菊地注夫氏 1977年法学部卒業
- ◇藤岡市長 新井利明氏 1972年文学部卒業
- ◇七尾市長 武元文平氏 1966年経済学部卒業
- ◇島田市長 桜井勝郎氏 1966年経済学部卒業
- ◇町田市長 寺田和雄氏 1958年経済学部卒業
- ◇黒部市長 堀内康男氏 1976年経営学部卒業
- ◇西予市長 三好幹二氏 1975年法学部卒業
- ◇1967年経済学部卒業

法政出身の社長紹介

- ◇株式会社近江兄弟社 石井 康三氏(いしい・こうぞう) 63年法学部卒業。近江兄弟社入社、91年取締役営業部長、03年専務営業部長。東京都出身63歳(04年6月25日就任)
- ◇ミサワホーム東京株式会社 竹中 宣雄氏(たけなか・のぶお) 72年社会学部卒業。72年ミサワホーム入社、95年取締役、99年千葉ミサワホーム社長。和歌山県出身56歳(04年6月29日就任)
- ◇株式会社サハダイヤモン 今野 康裕氏(こんの・やすひろ) 71年工学部卒業。76年サハダイヤモン入社。80年二子マート社長、96年台湾二子マート社長を経て04年ジャパンオーケストレーションズ(現サハダイヤモン)入社、取締役。青森県出身55歳(04年10月1日就任)

井上 雅之氏(いのうえ・まさゆき) 72年社会学部卒業。72年ミサワホーム入社、95年取締役、99年千葉ミサワホーム社長。和歌山県出身56歳(04年6月29日就任)

奥村建設株式会社 代表取締役社長 小原 尚 社会学部1966年卒	リネット株式会社 代表取締役社長 大内 昭彦 法学部1967年卒	株式会社 加賀ライズ 代表取締役 高根 典文 経済学部1967年卒	簡易裁判所 訴訟代理人 司法書士 松嶋 晃正 法学部1969年卒	法政大学校友連合会 広 報 副委員長 石川 郁二 文学部1971年卒	有限会社 京葉庄接 取締役社長 垣本 一雄 経済学部1978年卒	法政大学法学部同窓会 常任理事 井上 仁良 法学部1981年卒	法政大学校友連合会財務委員長 中央会計事務所所長 山田 一功 法学部1982年卒	中尾建設工業株式会社 専務取締役 中尾 美佐男 工学部1982年卒	法政大学校友連合会 広 報 副委員長 齋藤 利彦 工学部1960年卒
---	---	--	--	--	---	--	---	--	--

**法政
トピックス**

法政大学全国卒業生の集い

神奈川大会 開催

全国各地から 800人が参集、結集力示す

第13回法政大学卒業生の集い「神奈川大会」が2004年10月29日(金)～31日(日)にかけて、神奈川県横浜市において開催された。校友連合会になってから2回目となる大会で、首都圏では初めての開催である。大会は式典、懇親会を中心にエクスカッションを取り入れた記念すべき大会となった。

大会式典

大会式典は10月30日午後1時から、日本の海の玄関ともいえる「横浜港大さん橋ホール」にて開かれた。司会は母校OGの内山久美子アナで、先ず開会の言



来賓として挨拶される
清成忠男法政大学総長



地元横浜中華街若手による「獅子舞」

目指す開かれた法政21の発展に寄与する事を確信します。次に主催者を代表して、佐伯弘治大会会長(校友連合会会長)より挨拶があった。来賓として、清成忠男大学総長、中田宏横浜市長、松沢成文神奈川県知事、山内朗弘後援会会長をお迎えしてそれぞれ祝辞をいただいた。清成総長からは、「法政大学の社会的評価は上がっており、母校の為に益々の協力をお願いいたします」と述べられた。中田横浜市長は「私の父は法政出身で、妹も法政です」と法政と関係が深い話をされた。松沢知事からは「日本をリードし、益々発展することを望みます」とあいさつされた。

この後、大関久子大会副実行委員長(女子高同窓会)が大会宣言を行い、会場一杯の出席者から拍手で確認された。来賓紹介、祝電披露があり、大会旗が本部に返還された。最後に遠藤望大会副実行委員長の閉会の言葉があり、大会式典は終了した。式典終了後午後2時から記念講演が行われた。演題を「テニスと私」と題して、法政大学工学部教授の神和佳純氏(二高、法政大学卒)がテニスに絡めた動機などについて講演した。なお、大会後、神奈川大会実行委員会から、法政大学に130万円が寄付された。

卒業生のみなさん 校友連合会の活動に 参加しましょう

法政大学卒業生の組織、校友連合会は、傘下の各組織の理解と協力の下に実績を積み重ねている。母校法政大学は清成総長のもとで大胆な改革をすすめて、今も注目をされている大学となっている。大学と卒業生がともに手をとりあってこそ母校の発展もあり得る。卒業生の組織はまだ発展途上。一人でも多くの方にご参加いただき、青春をともにした同窓、大学の仲間たちと楽しみながら、母校を応援していききたい。大学との楽しい企画や校友が集うイベントも開催されている。

役員会・委員会記録

(2004.6.21～2004.12.1)

役員会	役員会	役員会	役員会
第17回	04年9月21日	第40回	04年9月14日
第18回	04年9月21日	第41回	04年9月29日
◆委員会担当副会長会議		第42回	04年10月6日
第6回	04年9月11日	第43回	04年10月26日
第7回	04年10月13日	第44回	04年11月25日
◆総務委員会		第45回	04年12月1日
第15回	04年7月13日	第46回	04年12月4日
第16回	04年8月24日	第47回	04年12月8日
第17回	04年10月5日	第48回	04年12月11日
◆広報委員会		(44～48回は出張校正)	
第38回	04年6月26日	◆委員会正副委員長会議	
第39回	04年9月7日	第7回	04年8月30日
		◆委員会合同会議	
		第7回	04年11月22日

校友連合会役員・委員会人事

- ◆役員
- ◆会長
- ◆副会長
- ◆退任
- ◆広報委員会
- ◆委員会
- ◆副委員長
- ◆正副委員長

告示 代表議員改選について

- 1、平成17年度代表議員選出基準日(会費納入者数)
- 2、改選告示(会報による)
- 3、本部より、各構成団体へ代表議員数の通知
- 4、各構成団体より本部へ新代表議員名を通知
- 5、平成17年度新代表議員氏名を会報により公表

原稿募集

次号の発行は2005年7月1日です。また、広告掲載ご希望の方も歓迎です。短評など近況、ご意見をお寄せください。地域のグループだよりは2500字以内で、個人近況などは1500字以内で、住所、氏名、電話、学部、卒年(西暦)を明記の上、2月末日迄にハガキでお気軽に事務局まで。

ゴルフ・エクスカッション

大会29日(金)と31日(日)にはエクスカッションが行われた。29日は2つのイベントがあり、「親睦ゴルフ」

アトラクションも華やか 懇親会

懇親会は同場所において午後3時から開催された。会場はかなり広いホールであったが、全国から集まった校友で満席となった。岩部金吾校友連合会副会長の音頭で元々「乾杯!」で懇親会がスタートした。

初めて参加した 卒業生の感想は

今回初めて参加された方に感想を聞いてみた。大手建設会社に勤務する男性は「友達に紹介されて初めて参加しました。こんなに大勢卒業生が集まるなんて凄いですね。感激しました。次も参加します」。また、

新潟中越地震で被災地へお見舞い(義援金)を寄付した。校友連合会から一校友連合会への十日町支部、長岡富士見会、小千谷魚沼支部の3カ所に見舞い(義援金)を送付した。

校友連合会は、編集、取材、校正、広告集稿作業では広報委員メンバーに加えて多くの方々の実務協力をいただいた。参画メンバーをご紹介します。敬称略、星野次男、丸岡孝、竹下春樹、山崎敏夫、矢田義徳、斎藤利彦、石川郁二、大西光広、加藤豊、宮本幸彦、武田信一、高根典文、丸山堅司、長瀬達也、坂本順子、桜井義雄の各氏。(竹内實昭)

お知らせ

校友連合会事務局の年末年始休暇は12月28日(火)～1月7日(金)となります。

編集後記

2005年新年号いかがでしたか?新春対談で「全学部からつぎつぎと改革の提案が上ってくる」と清成総長。「卒業生の組織化には愛情をもって」と佐伯会長の発言が印象に残る。